

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
をここに公布する。

令和7年2月28日

小牧岩倉衛生組合
管理者 小牧市長 山下 史守朗

小牧岩倉衛生組合条例第1号

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に
関する条例

(小牧岩倉衛生組合職員の給与に関する条例の一部改正)

第1条 小牧岩倉衛生組合職員の給与に関する条例(昭和52年小牧岩倉衛生組合条例第12号)の一部を次のように改正する。

第18条の2第3号及び第4号中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

第18条の3第1項第1号及び第3項第1号中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

(小牧岩倉衛生組合職員退職手当支給条例の一部改正)

第2条 小牧岩倉衛生組合職員退職手当支給条例(昭和52年小牧岩倉衛生組合条例第14号)の一部を次のように改正する。

第17条第1項第1号及び第5項第2号中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

第18条の見出し及び同条第1項第1号、第19条第1項第1号並びに第21条第4項中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

第3条 次に掲げる条例の規定中「懲役」を「拘禁刑」に改める。

(1) 小牧岩倉衛生組合情報公開・個人情報保護審査会条例(平成19年小牧岩倉衛生組合条例第8号)第16条

(2) 小牧岩倉衛生組合個人情報の保護に関する法律施行条例(令和5年小牧岩倉衛生組合条例第1号)附則第3条第4項及び第5項

附 則

(施行期日)

第1条 この条例は、令和7年6月1日から施行する。

(罰則の適用等に関する経過措置)

第2条 この条例の施行前にした行為の処罰については、なお従前の例による。

2 この条例の施行後にした行為に対して、他の条例の規定によりなお従前の例によることとされ、なお効力を有することとされ、又は改正前若しくは廃止前の条例の規定の例によることとされる罰則を適用する場合において、当該罰則に定める刑に刑法等の一部を改正する法律(令和4年法律第67号。以下「刑法等一部改正法」という。)第2条の規定による改正前の刑法(明治40年法律第45号。以下この項において「旧

刑法」という。)第12条に規定する懲役(以下「懲役」という。)(有期のものに限る。以下この項において同じ。)、旧刑法第13条に規定する禁錮(以下「禁錮」という。)(有期のものに限る。以下この項において同じ。)又は旧刑法第16条に規定する拘留(以下「旧拘留」という。)が含まれるときは、当該刑のうち懲役又は禁錮はそれぞれその刑と長期及び短期を同じくする有期拘禁刑と、旧拘留は長期及び短期を同じくする拘留とする。

(人の資格に関する経過措置)

第3条 拘禁刑又は拘留に処せられた者に係る他の条例の規定によりなお従前の例によることとされ、なお効力を有することとされ、又は改正前若しくは廃止前の条例の規定の例によることとされる人の資格に関する法令の規定の適用については、無期拘禁刑に処せられた者は無期禁錮に処せられた者と、有期拘禁刑に処せられた者は刑期を同じくする有期禁錮に処せられた者と、拘留に処せられた者は刑期を同じくする旧拘留に処せられた者とみなす。

(小牧岩倉衛生組合職員の給与に関する条例の一部改正に伴う経過措置)

第4条 刑法等一部改正法及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律(令和4年法律第68号)並びにこの条例(以下これらを「刑法等一部改正法等」という。)の施行前に犯した禁錮以上の刑(死刑を除く。)が定められている罪につき起訴をされた者は、第1条の規定による改正後の小牧岩倉衛生組合職員の給与に関する条例第18条の3第1項(第1号に係る部分に限る。)及び第3項(第3号に係る部分に限る。)の規定の適用については、拘禁刑が定められている罪につき起訴をされた者とみなす。

(小牧岩倉衛生組合職員退職手当支給条例の一部改正に伴う経過措置)

第5条 刑法等一部改正法等の施行前に犯した禁錮以上の刑(死刑を除く。)が定められている罪につき起訴をされた者は、第2条の規定による改正後の小牧岩倉衛生組合職員退職手当支給条例第17条第1項及び第5項、第18条第1項(第1号に係る部分に限る。)並びに第21条第4項並びに小牧岩倉衛生組合職員退職手当支給条例第21条第3項の規定の適用については、拘禁刑が定められている罪につき起訴をされた者とみなす。